

海外安全対策情報（令和元年度第2四半期（7月～9月））

在ベトナム日本国大使館

1 社会・治安情勢

- (1) 2014年5月中旬に発生したデモ、2016年5月初旬に発生した魚大量死に関連した大規模なデモ以来、国家の統治及び社会秩序を不安定にするような暴動、テロ、大規模なデモなどの発生は確認されていなかったが、2018年6月10日から12日にかけて、経済特区法案等に関連するデモが全国各地で発生した。
- (2) 殺人、強盗、薬物関連、人身売買事案など重大凶悪事件の発生や検挙は当地マスコミ媒体などにより日々報道されている。在留邦人や邦人旅行者からは、スリや置引きなどの窃盗を中心とした犯罪被害が当館に報告されており、一般治安状況については十分な注意を要する。
- (3) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事から、ハノイ市における犯罪発生状況、検挙状況等を抜粋したもの。（2019年6月～8月実績。※（ ）内の数値は同年3月～5月実績。）

【刑法犯関係】

- ア 刑法犯発生件数 : 1, 186件 (1, 081件)
- イ 刑法犯検挙件数 : 978件 (962件)
- ウ 刑法犯検挙人員 : 1, 356人 (1, 412人)

【薬物犯罪関係】

- ア 薬物犯罪検挙件数 : 833件 (736件)
- イ 薬物犯罪検挙人員 : 1, 133人 (978人)

【交通事故関係】

- ア 交通事故発生件数 : 330件 (319件)
- イ 交通事故死亡者数 : 118人 (138人)
- ウ 交通事故負傷者数 : 198人 (193人)

- (2) 邦人被害事案（主なもの）

- ア ハノイ市内の通称「日本人街」と呼ばれているダオタン通り、リンラン通り、キムマー通り周辺において、邦人男性が歩いているところを女性に声を掛けられ、気を取られている隙に携帯電話や財布などをスリ取られる盗難事件が複数発生している。同所付近では以前から同様の手口による盗難事件が発生している。
- イ ハノイ市旧市街地区において、観光に訪れていた邦人が同地区を散策中、気がつかない隙に財布や携帯電話をスリ取られる盗難被害が複数発生している。
- ウ 観光に訪れた邦人がノイバイ空港から市内に向かう際、声を掛けられたタクシ

一に乗車し、相場の数倍を超える料金を請求されるというぼったくり被害が複数発生している。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生（当館把握分）はなかった。
なお、当地報道によれば他国企業に対する労使紛争は発生している。